



## わたしと憲法

第7話

### “中学生の時に 憲法の素晴らしさを”



西区西支部  
佐々木 秀之

南信州の5月は果樹園の梨（「二十世紀」）の白い花が咲くとともに始まり、お蚕様を育てる桑の成長で次の月に進みます。そんな5月の青い空の下で中学生の私は毎年憲法全文を読んできました。読み始めた事情は思い出せないけれど、高校時代の乱読で出会った「昭和史発掘」で政治の深層に触れ、「教育の森」で教育の怖さとすばらしさを知っていったその後のベトナム反戦運動や社会福祉への道を選んだことの土台になっていると思います。

頭でっかちな話ですが憲法の本質は、夕焼けで赤紫に染まる南アルプス連峰のように素晴らしく、凜とした気持ちにさせてくれるのです。

